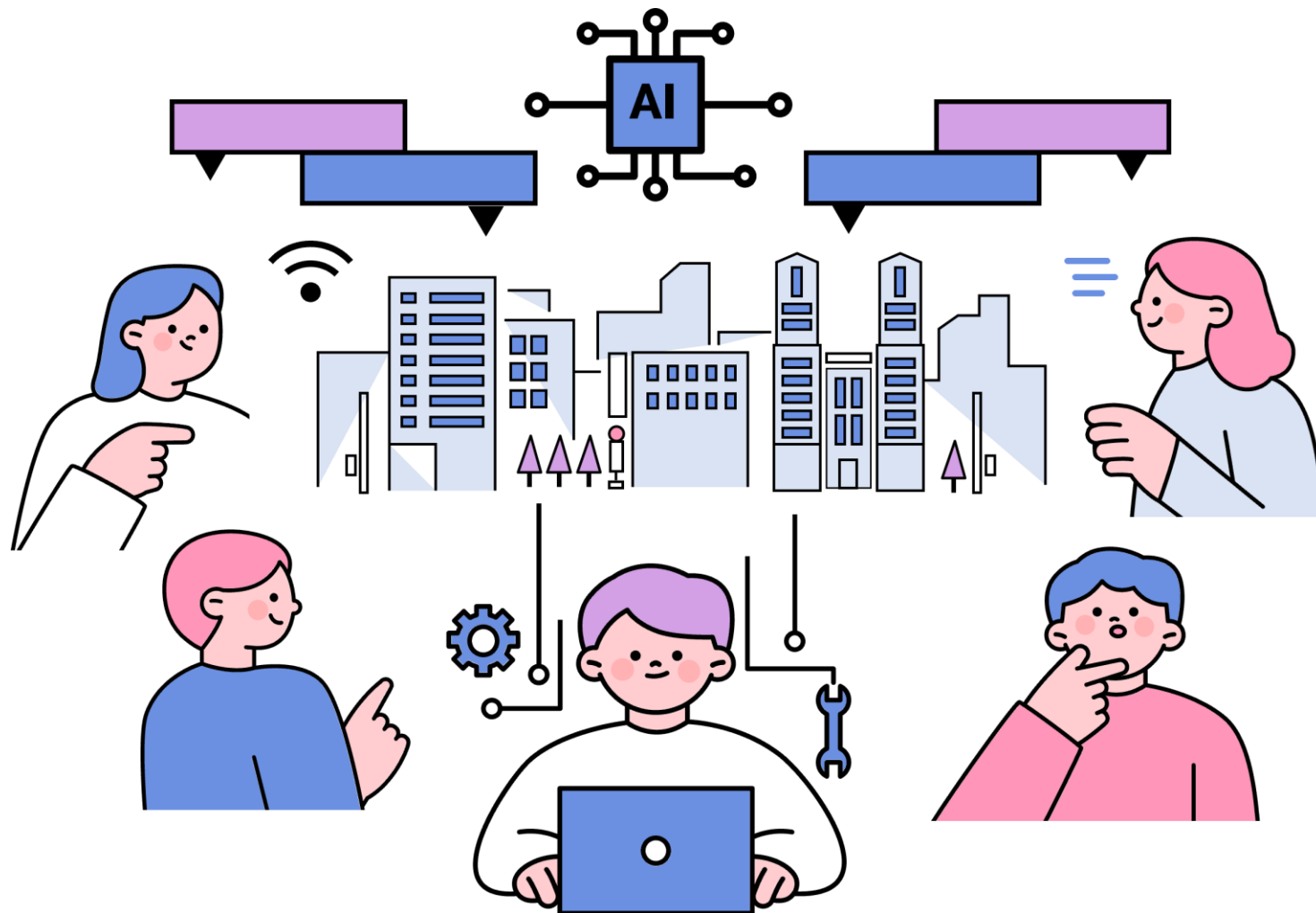


文章生成AI 利活用 ガイドライン

Version 1.0

2023年 8月 東京都デジタルサービス局



はじめに

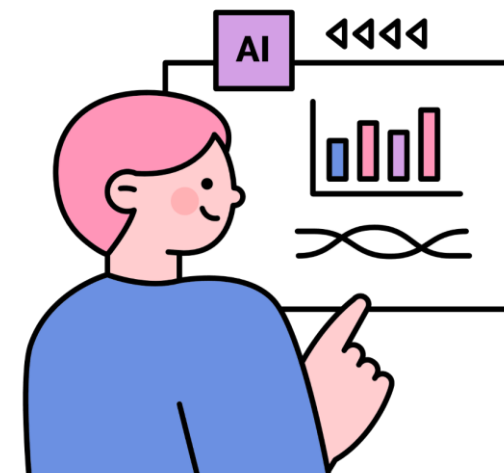
このガイドラインは、東京都で初めてとなる文章生成AI（ChatGPT）の利活用ガイドラインです。

ChatGPTをはじめとする文章生成AIは、都職員の業務のあり方を大きく変革する可能性を秘めている一方、様々なリスクも指摘されています。このため、業務での活用にあたり期待する効果を得るためには、その特性をよく理解し、正しく利用することが重要です。

東京都では、4月にデジタルサービス局内に検討プロジェクトチーム（PT）を設置し、文章生成AIの利活用について議論を重ねてきました。このたび、これまでのPTにおける検討の成果をガイドライン（Version 1.0）としてとりまとめました。

*本ガイドラインは、今後得られた知見などを踏まえ、適宜内容の見直しを行っていく予定です

8月からは文章生成AIを共通デジタルツールとして全局に導入します。業務に活用する際には、このガイドラインをしっかりと読んでいただきますようお願いいたします。そして、文章生成AIという新しい技術を正しく使いこなし、行政サービスの質を高め、都政のQOS（Quality of Service）向上へとつなげていきましょう。



目次

はじめに P. 2

1章 文章生成AIについて

- 1 文章生成AIの特徴 P. 5
- 2 文章生成AIの活用可能性とリスク P. 6
- 3 都の取組の方向性 P. 7

2章 利用環境

- 1 都における利用環境 P. 9
- 2 利用環境のイメージと留意点 P.10

3章 利用上のルール

- 1 利用にあたっての約束事 P.12
- 2 職員が守るべきルール P.13

4章 効果的な活用方法

- 1 文章生成AIの効果的な活用に向けて P.20
- 2 有効な活用分野 P.21
- 3 有効なプロンプトの方法 P.27

5章 今後の展望

- 1 発展を続ける生成AI P.39
- 2 生成AIをめぐる動向 P.40
- 3 今後の都の取組 P.41

SPECIAL THANKS ! P.42

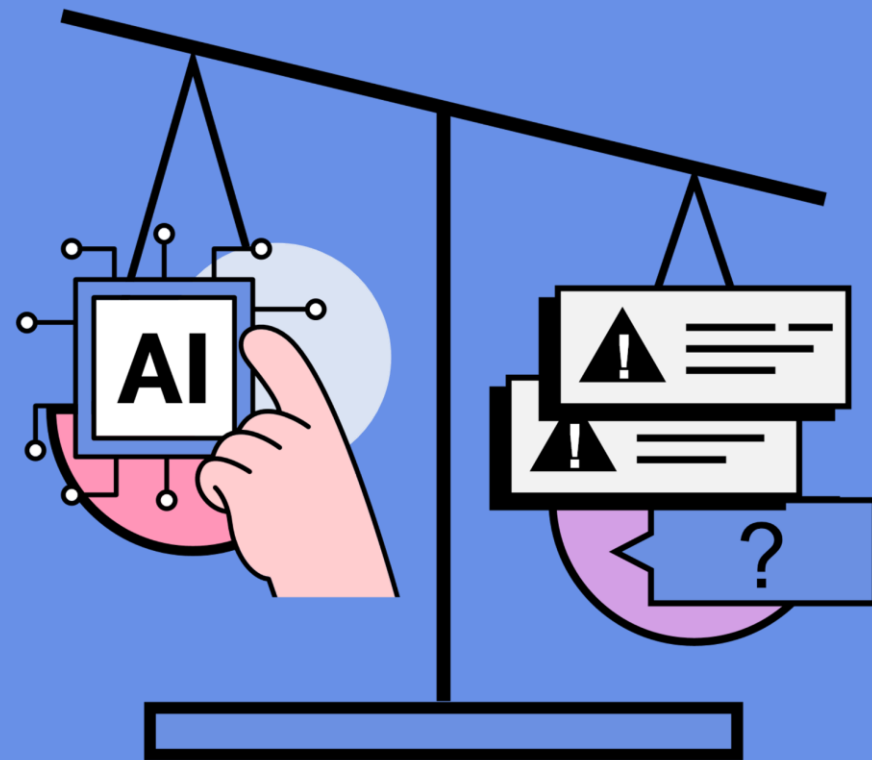
付録

- ・職員アイデアソン
- ・利用者アンケート
- ・4章で使用したプロンプトと回答の全文

1章 文章生成AIについて

1章では、文章生成AIの概要と、それを業務に活用するために知ってほしいことを紹介します。ぜひ文章生成AIを利用する前に読んでください。

はじめに、文章生成AIの特徴や、その活用可能性と伴うリスクについて、また都の取組の方向性について紹介します。



1 文章生成AIの特徴

AIに対してプロンプト[※]を与え、文章を生成することができる人工知能のひとつで、**人間の業務・作業をサポートするツール**として活用が期待されています。

これまではAIがデータを基礎とした結果を予測し、人間が具体的な対応策を生み出してきました。

一方、文章生成AIは**プロンプトに対するテキストを対話形式で応答**する点が、これまでのAIとは異なることに注目が集まっています。

※ 指示、命令文のこと



2 文章生成AIの活用可能性とリスク

生成AIの登場、そしてその性能が格段に向上する中、社会の様々な分野において活用が広がる可能性があります。

本ガイドラインで取り上げる文章生成AIについても、これを適切かつ効果的に活用することで、**これまでのような生産性の向上や、社会課題の解決につながる可能性**を秘めており、AI活用に向けた検討や取組を進めていく必要があります。

一方で、文章生成AIには、**情報漏えいや回答の不正確性、著作権侵害など、様々な問題が指摘**されており、文章生成AIが生成した**回答の根拠や裏付けを必ず確認することが重要**です。

行政分野での活用にあたっては、こうしたリスクへの対応が必要です。

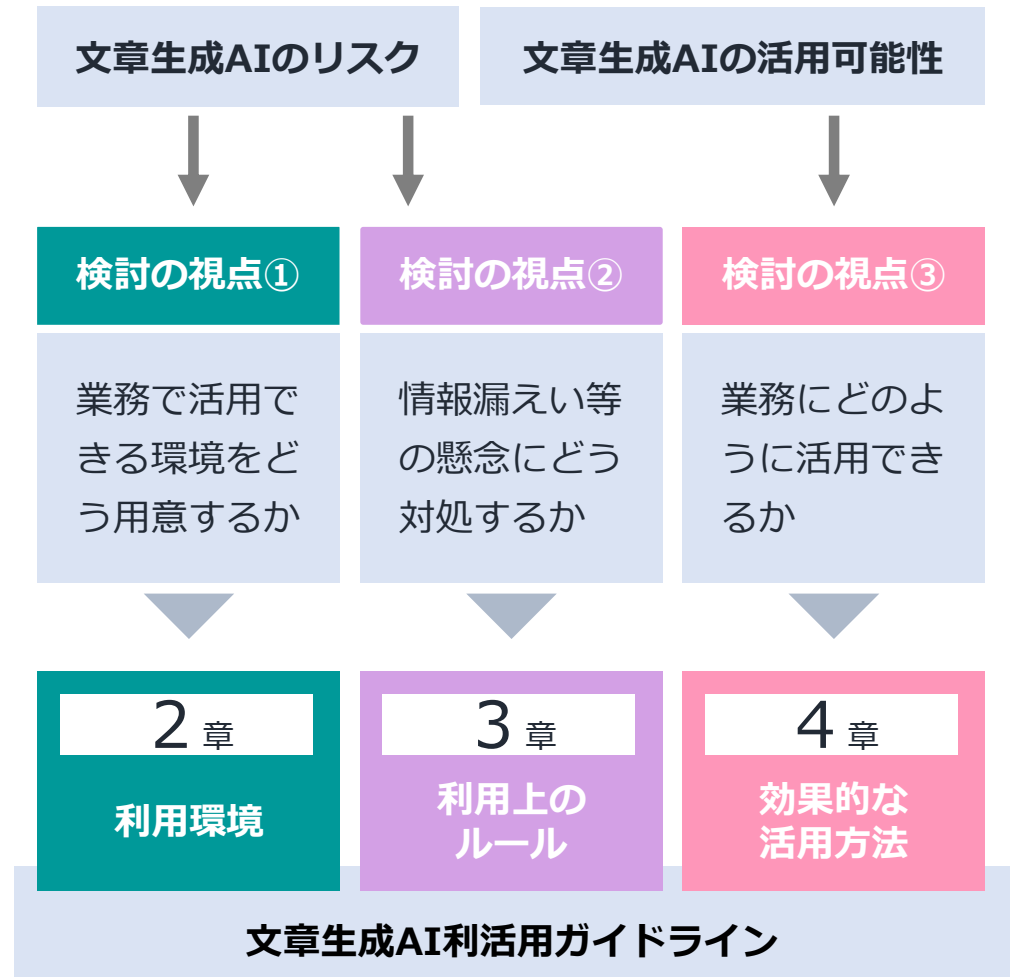


3 都の取組の方向性

都はこれまで、AIを様々な業務で活用し、業務の効率化等を推進してきました。

そして、2023（令和5）年4月には、文章生成AIの活用に関して、デジタルサービス局にPTを立ち上げ、**文章生成AIのプラス面とマイナス面を見極めながら検討を重ねてきました。**

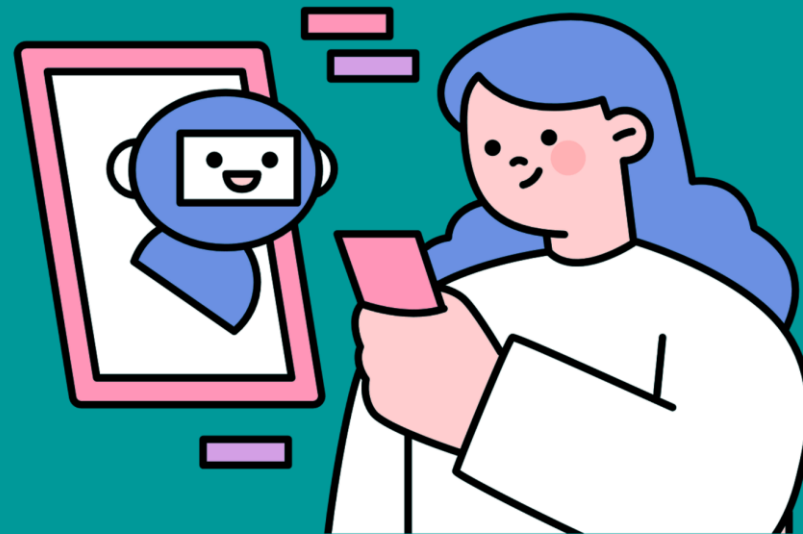
今後、右の3つの視点を踏まえて取りまとめた**このガイドライン**をもとに、**様々な行政分野での活用を進めていきます。**



2章 利用環境

2章では、デジタルサービス局が準備した、利用環境について紹介します。

プロンプトを入力し、出力された回答が表示されるまでの関係性を解説します。



1 都における利用環境

インターネット上の公開された環境で文章生成AIを利用すると、入力内容が学習データとして保存されるなど、情報漏えいにつながるリスクがあります。

デジタルサービス局では、Microsoftの「Azure OpenAI Service^{※1}」を利用し、職員が業務で活用するための**より安全な利用環境を共通基盤として整備**しました。

以下の点を確認し、データの漏えいリスクを可能な限り低減しました。

- **入力データが学習目的で利用されない**
- **入力データの保存をサーバー側で行わない**
(opt out^{※2}機能を利用)

※1 ChatGPTをMicrosoft Azureの環境で使用できるサービス ※2 セキュリティ上、職員の入力データがサーバー側に保存されないようにする機能



2 利用環境のイメージと留意点

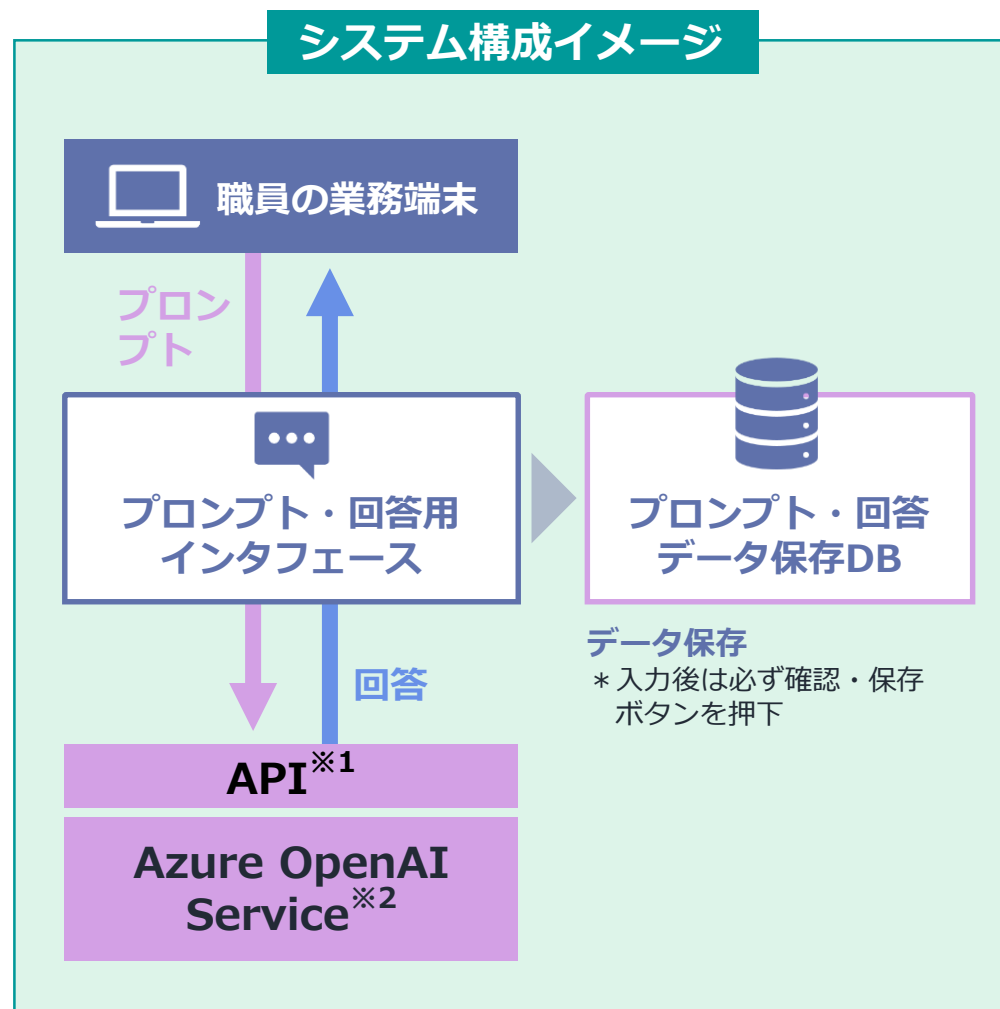
職員がプロンプトを入力すると、その内容が「Azure OpenAI Service」に送信され、受信した回答が表示されます。

プロンプトは、連続して入力可能です（入力後は確認・保存ボタンを押下）。

プロンプトを深掘りすることで、回答内容の向上が期待できます。

※1 API(Application Programming Interface)はプログラム同士が情報をやり取りするための窓口

※2 2023（令和5）年8月現在、Azure OpenAI ServiceのChatGPT（gpt-3.5-turbo）を利用（学習データは2021年9月まで）



3章 利用上のルール

3章では、利用上のルールについて説明します。

文章生成AIの利用に際しては、この章を必ず参照し、ルールを守って安全に使っていただくようお願いします。



1 利用にあたっての約束事

文章生成AIの利用にあたっては、安全な利用環境の整備に加え、職員の皆さん自身がリスクを理解し、ルールを守って利用することが重要です。

まず、次の点を必ず遵守するようにしてください。



安全性が確保された庁内の共通基盤で文章生成AIを利用すること（2章参照）

東京都サイバーセキュリティポリシー上、許可されていない生成AIを業務で利用すること、私物端末上で生成AIを用いて業務を行うことは禁止されており、違反すると懲戒処分の対象となる場合があります。

また、職員の皆さんには、以下を実施した上で利用を開始していただくようお願いします。

- ✓ **利用開始前に必ず利用申請フォームで申請を行うこと**
- ✓ **e-ラーニングを受講し、正しい利用方法を確認すること**

2 職員が守るべきルール

庁内の共通基盤で文章生成AIを利用する際のルールは以下4点です。

ルール 1

個人情報等、機密性の高い情報は入力しないこと

ルール 2

著作権保護の観点から、以下の点を十分注意し、確認

- ・既存の著作物に類似する文章の生成につながるようなプロンプトを入力しないこと
- ・回答を配信・公開等する場合、既存の著作物等に類似しないか入念に確認

ルール 3

文章生成AIが生成した回答の根拠や裏付けを必ず自ら確認

ルール 4

文章生成AIの回答を対外的にそのまま使用する場合は、その旨明記

ルール
1

個人情報等、機密性の高い情報は入力しないこと

文章生成AIは外部サービスに該当し、セキュリティ対策はサービス提供者に依存することから、機密情報や未公開情報を入力すると、万が一の場合、情報漏えいにつながるリスクが残ります。

*機密性Aは入力不可（安全性が確保された利用環境（2章参照）であれば、機密性Bまでの情報を入力可能）

機密性	セキュリティポリシー上の分類	情報資産の例
A	秘密文書に相当する、高い機密性を要する情報資産	個人情報、契約関係情報、訴訟・審査請求等に関する情報 等
B	秘密文書に相当しないが、直ちに一般に公表することを前提としていない情報資産	内部通知、事案決定手続きを経ていない企画資料、経常業務の事務手順や実績 等
C	機密性A又は機密性B以外の情報資産	東京都のホームページ等で公開済みの行政情報 等

入力不可

（出典）東京都サイバーセキュリティポリシー

ルール
2**著作権^{※1}保護の観点から、以下の点を十分注意し、確認**

- ・既存の著作物に類似する文章の生成^{※2}につながるようなプロンプトを入力しないこと
- ・回答を配信・公開等する場合、既存の著作物等に類似しないか入念に確認

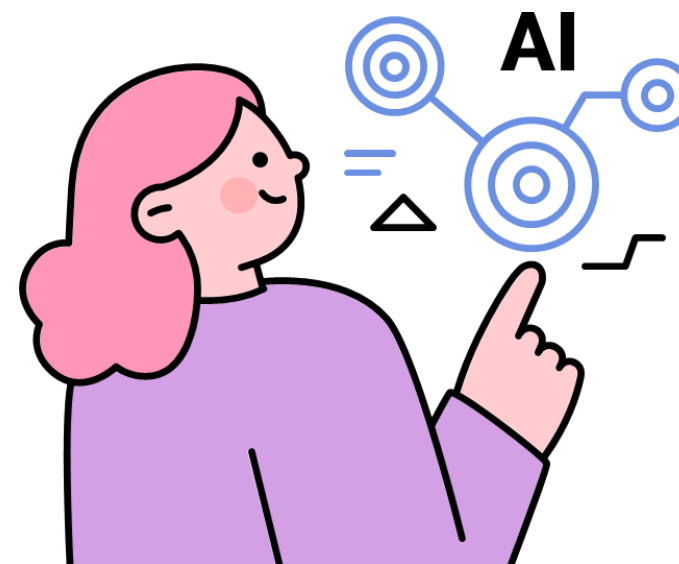
単に他人の既存著作物、作家名、作品の名称を入力するだけの行為は、必ずしも直ちに著作権侵害に該当するとは限りません。

ただし、生成されたデータが、プロンプトに入力したデータや既存の著作物と同一・類似している場合は、当該生成物の利用が当該著作物の著作権侵害になる可能性もあります。

特に生成物を配信・公開等する場合には、生成物が既存著作物に類似しないかの調査を行うようにしてください。

※1 著作権、特許権、個別の契約上の権利関係を含む

※2 「作家〇〇の作品△△に似せて文章を生成してください」とプロンプトに入力する場合や、著作物をそのままプロンプトに入力し、当該著作物に類似した文章を生成させる場合 等



ルール
3**文章生成AIが生成した回答の根拠や裏付けを必ず自ら確認**

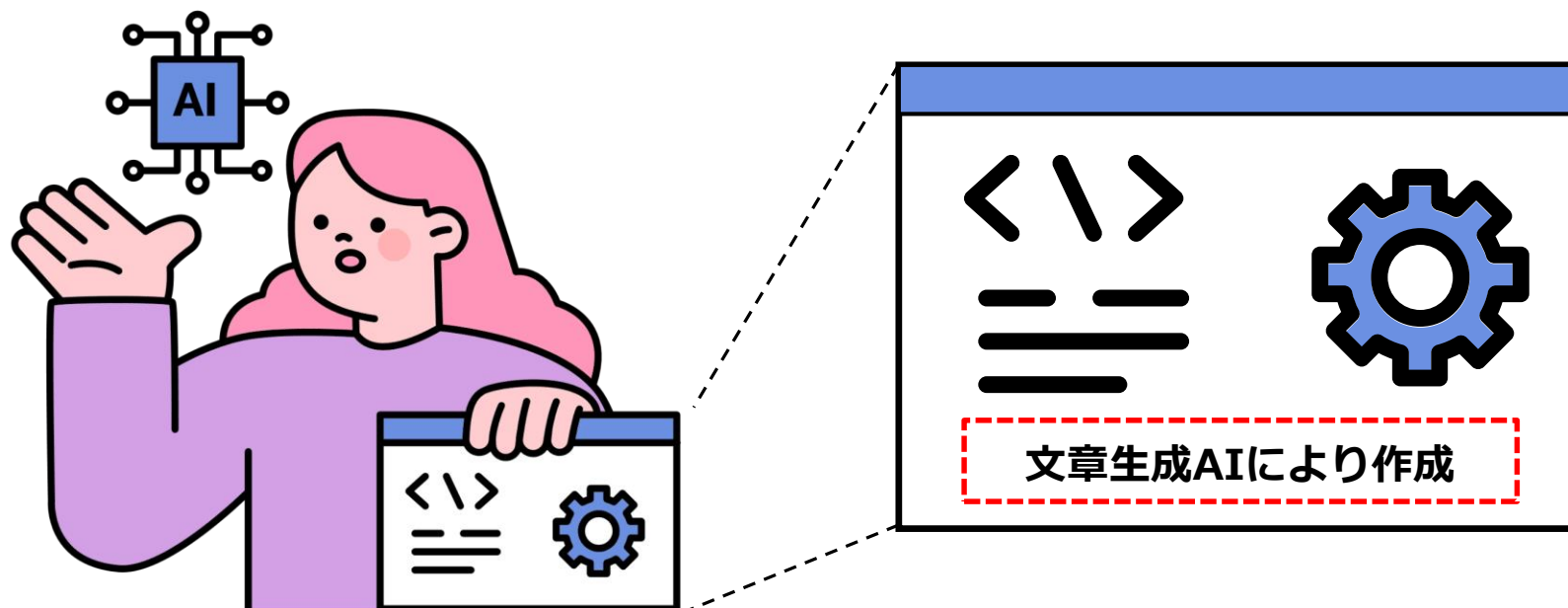
文章生成AIが生成した回答は表現・言い回しが自然であるため、正しいと感じてしまいます。しかし、最新の情報を反映していなかったり、偏った価値観、アンコンシャスバイアス[※]等が反映されてしまうこともあるなど、必ずしもその内容が「正確」とは限りません。

※ 自分自身は気づいていないものの見方や捉え方のゆがみや偏り

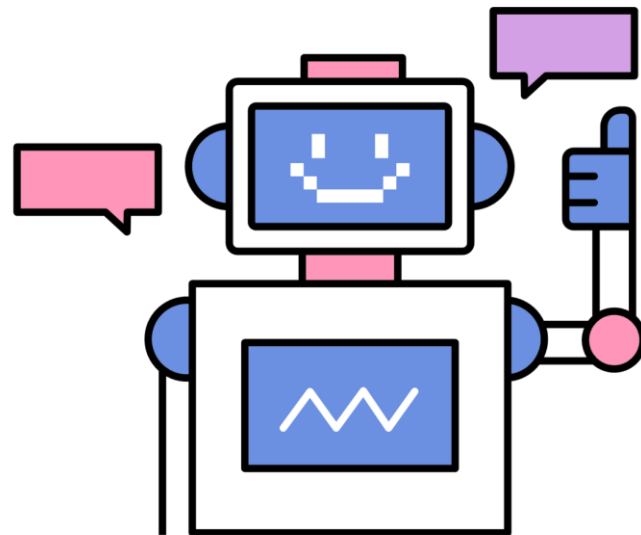


ルール
4**文章生成AIの回答を対外的にそのまま使用する場合は、その旨明記**

内容を確認した後、翻訳文や要約文等、文章生成AIの回答を対外的にそのまま使用する場合は、「文章生成AIにより作成」と記載することで、生成された文章がAIによるものか人間によるものかを読み手に伝えることができます。



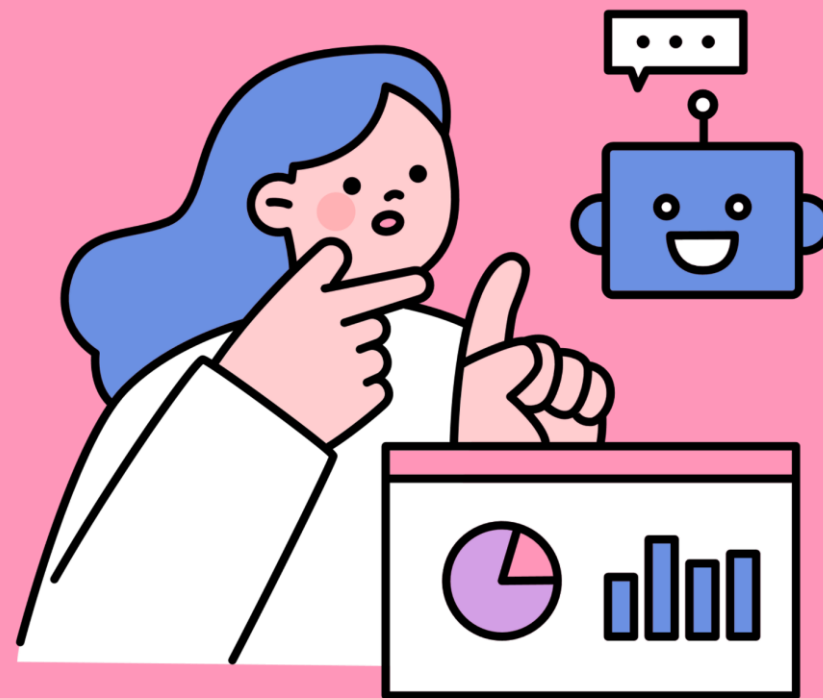
東京都サイバーセキュリティポリシーや
本利用ルールを遵守し、
文章生成AIを安全に活用しましょう！



4章 効果的な活用方法

4章では、文章生成AIに関する効果的な活用方法を紹介します。実際どんな場面で活用できるのか、活用事例や使い方のコツを紹介します。

まずは文章生成AIの業務利用での可能性を感じてみてください。



1 文章生成AIの効果的な活用に向けて

東京都における**効果的な活用方法を模索するため**、まずはデジタルサービス局において**アイデアソンを実施**し、職員の自由な発想のもと様々なアイデアを創出し、その実践に取り組みました。

検討PTで103個のアイデアの分類を行った結果、行政分野において、役に立つと考えられるアイデアには、**有効な分野とプロンプトの手法があることが分かりました。**

次頁以降、有効な活用分野とプロンプトの手法について解説していきます。

アイデアソン (1回目)

4月下旬

文章生成AI活用に係るアイデア出しを実施し、約200個の幅広いアイデアを創出

デジタル サービス局で 先行利用開始

6月中旬～

デジタルサービス局職員（約300人）が先行実施環境により、実務面での活用を開始

アイデアソン (2回目)

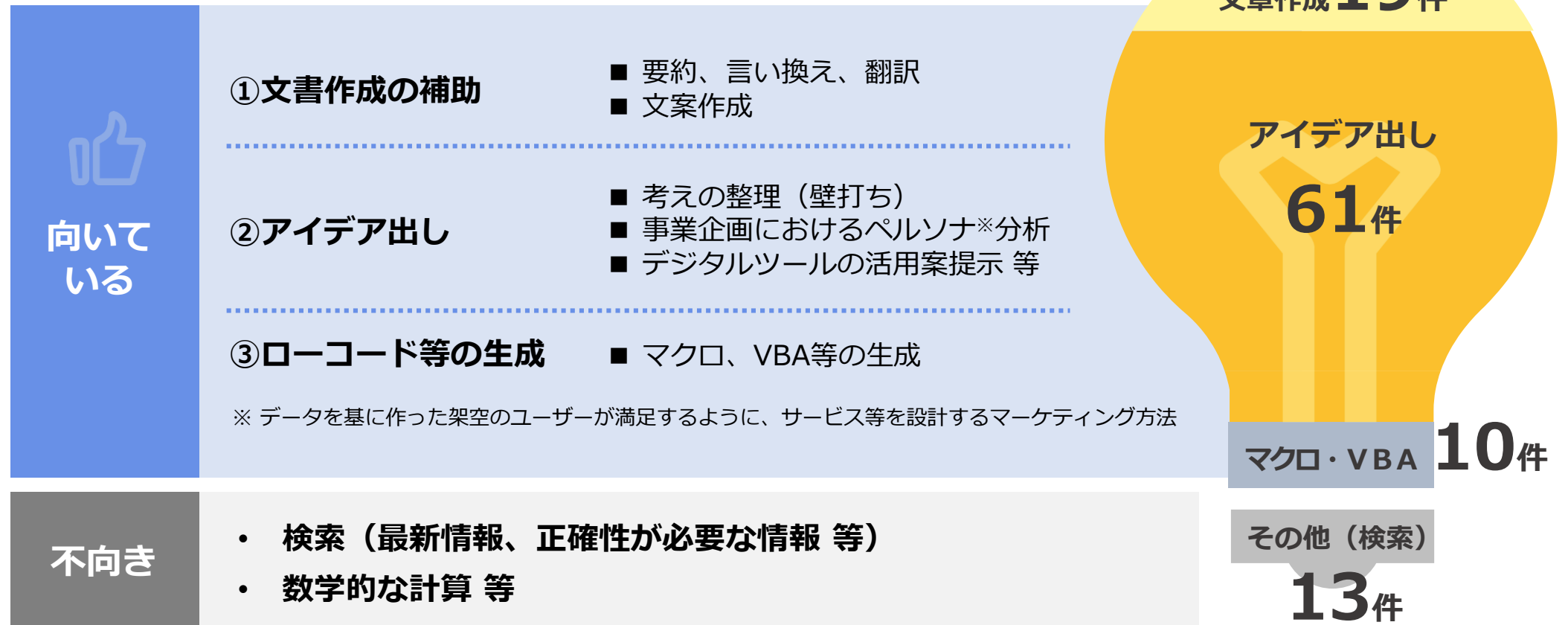
6月下旬

1回目のアイデアソンも踏まえ、デジタルサービス局職員から実務に根差した約200個のアイデアを収集

グループワークにおいて活用可能性の高い103個の事例を抽出

2 有効な活用分野

検討PTにおいて、103個のアイデアについて、行政での利用に「向いているもの」「不向きなもの」を整理し、活用分野ごとに分類しました。



利用に向いているもの

①文書作成の補助

プロンプト例	ChatGPTを子供でもわかるように要約して下さい。
回答	<p>もちろんです！ChatGPTは、人工知能（AI）の一種で、人々が質問や会話をするためのツールです。ChatGPTは、大量のデータを学習し、その知識をもとに質問に答えたり、会話をすることができます。</p> <p>ChatGPTは、インターネット上の情報を検索して、最適な回答を提供することができます。例えば、学校の宿題の質問や、興味のあるトピックに関する情報を探すのに役立ちます。</p> <p>ただし、ChatGPTは完璧ではありません。時には正確な情報を提供できないこともありますし、質問の意図を正しく理解できないこともあります。そのため、ChatGPTの回答を参考にする際には、他の情報源と照らし合わせる必要があります。</p> <p>また、ChatGPTは人間ではなく、プログラムであることを忘れないでください。感情や意識を持っていませんし、個別の人々に対する個別のアドバイスを提供することはできません。</p> <p>（以下略）</p>

利用に向いているもの

②アイデア出し

<p>プロンプト例</p>	<p>高齢者のデジタル活用に向けた企画案を箇条書きで項目のみ作成をお願いします。</p>
<p>回答</p>	<p>もちろんです。以下は高齢者のデジタル活用に向けた企画案の箇条書きです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オンラインコミュニティの構築：高齢者同士が情報や経験を共有できるプラットフォームを提供し、交流の場を創出します。 2. スマートフォンやタブレットの利用支援：高齢者がデジタルデバイスを使いこなせるよう、操作方法の研修や個別サポートを提供します。 3. オンラインショッピングのサポート：高齢者が自宅で必要な商品を購入できるよう、オンラインショッピングの利用方法や安全な取引方法を教えます。 4. 電子メールやSNSの活用：高齢者が家族や友人とのコミュニケーションを維持できるよう、電子メールやSNSの使い方を指導します。 5. 健康管理アプリの導入：高齢者が自身の健康状態を把握し、予防や管理に役立てるための健康管理アプリを紹介します。 <p>(以下略)</p>

利用に向いているもの

③ローコード等の生成

<p>プロンプト例</p>	<p>Microsoft Excelでピボットテーブルを作成するコードを教えてください。</p>
<p>回答</p>	<p>はい、Excel VBAを使用してピボットテーブルを作成するコードは以下のようになります。</p> <pre>Sub CreatePivotTable() Dim PivotSheet As Worksheet Dim DataSheet As Worksheet Dim PivotTable As PivotTable Dim PivotCache As PivotCache Dim DataRange As Range Dim PivotRange As Range 'ピボットテーブルを作成するシートを指定 Set PivotSheet = ThisWorkbook.Sheets("PivotTableSheet") 'ピボットテーブルに使用するデータがあるシートを指定 Set DataSheet = ThisWorkbook.Sheets("DataSheet") (中略)</pre> <p>このコードを実行すると、指定したシートにピボットテーブルが作成されます。必要に応じて、フィールドの追加や範囲の変更などを行ってください。</p>

利用に不向きなもの

・ 検索

プロンプト例	2023年7月現在の日本の現職の総理大臣を教えてください。
回答	2023年7月現在、日本の現職の総理大臣は存在しません。ただし、現在の日本の総理大臣は、2021年9月現在、菅義偉(すが・よしひで)氏が務めています。

**ChatGPT (gpt-3.5-turbo) の学習データは、
2021年9月までです。**

利用に不向きなもの

・ 数学的な計算

<p>プロンプト例</p>	<p>120円、94円、84円、63円、1円の切手を使って、切手総枚数が最小になるように、406円以上の切手を組み合わせてください。</p>
<p>回答</p>	<p>まず、406円以上の切手を組み合わせるために、最も価値の高い切手から順に使用していきます。最も価値の高い切手は120円ですので、まずはこれを使っていきましょう。120円の切手を使うと、406円から120円を引いた286円が残ります。（中略）</p> <p>切手の総枚数は、120円の切手が3枚、94円の切手が1枚、84円の切手が1枚、63円の切手が1枚、1円の切手が45枚となります。</p>

上記計算では、646円（計51枚）が出力されてしまう。
正しい正解（一つ）は、120円切手4枚で480円となる。
答えが一つに定まらないような依頼をすると間違ふ。

3 有効なプロンプトの手法

検討PTにおいて、103個のアイデアについて分析したところ、同じようなことをプロンプトに入力した場合でも回答結果が異なることがあり、**質問の前提や内容を具体化することが重要**であることが分かりました。

その理由として、文章生成AIが過去の膨大なデータから、次に続く確率の高い言語をパターン出力していることが挙げられます。

このため、質の高い回答を導くために、先に述べた「具体性」などが重要とされています。

このように入力方法を工夫することを一般的に「**プロンプトエンジニアリング**」と呼んでいます。

パターン出カイメージ



プロンプトのコツ

都政で活用する際のプロンプトのコツとして、以下の点が挙げられます。
最初はテンプレートとして以下のコツを踏まえて入力するのもよいでしょう。

Step 1

必要な情報を引き出し整理する

- ① 立場をはっきり
 - 行政分野や立場、文章生成AIに与える役割 等
- ② 目的・背景を具体的に指定
 - 前提条件、課題を整理
- ③ 出力形式を指定
 - 文字数、英語、箇条書き 等

Step 2

視点を加えて高度な回答を導く

- ④ プロンプトを重ねて回答をブラッシュアップ
 - 追加質問や、Step 1 でうまく回答を得られなかった①～③の条件を追加

次頁から、[行政の事例に即して具体の実践例](#)を挙げていきます。

掲載事例一覧

基本編	事例 ①	文書作成 (挨拶文)	Step 1 事業責任者として、説明 会冒頭での挨拶文を作成	▶	Step 2 挨拶文を資料掲載用の原 稿に体裁を変更
	事例 ②	文書作成 (要約)	Step 1 HPから局事業の内容を 要約	▶	Step 2 子供にもわかるように言 い換え
	事例 ③	アイデア出し (企画提案)	Step 1 担当として、庁内イベン トの企画内容を提案	▶	Step 2 追加提案
応用編	事例 ④	アイデア出し (企画提案)	応用編 英語圏の考え方や情報をベースとしたアイデアを提案		

事例① 文書作成（挨拶文）

Step1

Step2

プロンプト例

あなたは**東京都の職員**で、

立場

文章生成AIを職員に活用してもらうための
ガイドラインを作っている責任者
です。

立場

ガイドラインは以下の内容です。

（中略）

全職員向けに文章生成AIを活用して
もらうための**説明会を開きます**ので、

目的・背景

冒頭の挨拶文を作ってください。

形式

*要約の質を高めるため、1問目では
文字数は指定しない

形式

回答

皆様、こんにちは。

私たち東京都では、新たな技術である文章生成AIを活用することで、業務の効率化や品質向上を図る取り組みを進めています。

（中略）

生成AIは、私たちの業務のあり方を大きく変革する可能性を秘めていますが、同時に様々なリスクも指摘されています。そのため、正しく理解し、適切に利用することが重要です。**私たちは、生成AIという新しい技術を上手に活用し、都政の品質向上につなげていくことを目指しています。**

この説明会では、生成AIの特性や利用方法について詳しくご説明いたします。皆様には、ぜひこの機会を活かして、生成AIの活用について理解を深めていただきたいと思います。

（以下略）

事例① 文書作成（挨拶文）

Step1

Step2

プロンプト例

職員向け**案内文に掲載**するため、
200字で原稿を作ってください。

ブラッシュ
アップ

回答

東京都では、文章生成AIを活用することで業務の効率化や品質向上を図っています。

生成AIの特性や利用方法について詳しく説明する説明会を開催します。

生成AIは新たな技術であり、正しい理解と適切な利用が重要です。

都政の品質向上に向けて、皆様と共に取り組んでまいります。
どうぞご参加ください。

事例② 文書作成（要約）

Step1

Step2

プロンプト例

スマート東京の内容について、
以下ホームページの内容を、
要約してください。

目的・背景

形式

<https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/smarttokyo/index.html>

回答

「スマート東京」は、**東京都が推進する都市のデジタル化とイノベーションを促進する取り組み**です。

このウェブサイトでは、スマート東京のビジョン、目標、取り組みについて詳しく紹介しています。

スマート東京のビジョンは、東京をより持続可能で快適な都市にすることです。

具体的な目標としては、エネルギー効率の向上、交通のスムーズ化、災害対策の強化などが挙げられます。

（以下略）

事例② 文書作成（要約）

Step1

Step2

プロンプト例

要約して頂いた内容を

**小学3年生でも理解できる
ように平易な言葉**でまとめて
ください。

ブラッシュ
アップ

回答

「スマート東京」は、東京を**もっと便利で環境にやさしい都市**にするための取り組みです。

ウェブサイトでは、その詳しい内容が紹介されています。

たとえば、**エネルギーの使い方を工夫したり、交通をスムーズにしたり、災害に備えたりする**方法が紹介されています。

また、企業や研究機関、市民の**みんなも参加できるように案内**しています。

最新のニュースやイベント情報も載っているので、興味がある人はぜひチェックしてみてください。

事例③ アイデア出し（企画提案）

Step1

Step2

プロンプト例

あなたは東京都のデジタルサービス局で
DXアワードの企画を担当しています。

立場

都庁内の各局から生み出される**創意工夫**
を凝らしたベストプラクティスを
共有し、優れた取組を称え、DX
への挑戦を後押ししたいと考えて
います。

目的・背景

DXアワードの内容を下記URLから参照し、
DXの業績で優れた部門に授与
する賞について、

目的・背景

アイデアを3つまとめてください。

形式

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2022/08/23/08.html>

回答

（前略）

1. ユーザーエクスペリエンス賞：

この賞は、市民や利用者にとって使いやすく、便利なデジタルサービスを提供することに成功した部門に授与されます。例えば、オンラインで手続きを完了できるシンプルな申請システムや、モバイルアプリを活用した便利な情報提供サービスなどが該当します。

（中略）

これらの賞は、東京都のDXアワードにおいて、優れた業績を上げた部門を称え、他の部門にも良い影響を与えることを目指しています。皆様のご協力とご提案を心よりお待ちしております。

事例③ アイデア出し（企画提案）

Step1

Step2

プロンプト例

DXアワードの賞を再編し、
新しいアイデアを出して
ください。

ブラッシュ
アップ

回答

東京都デジタルサービス局のDXアワードの賞を再編し、新しいアイデアを提案いたします。

1. デジタルイノベーション賞：

この賞は、デジタル技術を活用して都の行政サービスに革新をもたらした部門に授与されます。例えば、AIやIoT、ブロックチェーンなどの最新技術を活用して、効率化や利便性の向上を実現した取組が評価されます。また、新たなアイデアやコンセプトを取り入れ、都の行政におけるデジタルトランスフォーメーションを推進した部門も対象となります。

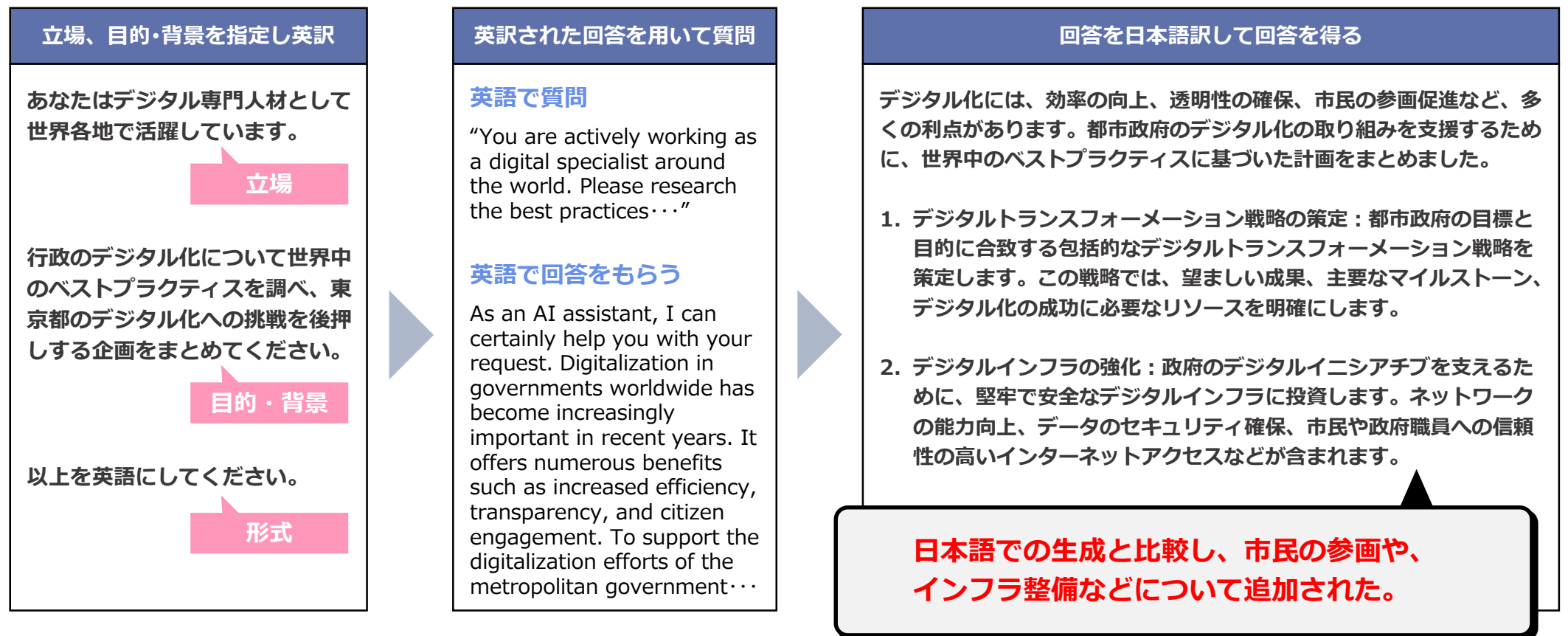
（以下略）

事例④ アイデア出し（企画提案）

応用編

ChatGPTが学習した情報量は日本語より英語がはるかに多いと言われています。そのため、英語で質問することにより、英語圏の多様な考え方や情報をベースにした、視点の異なるアイデアを生成することができます。

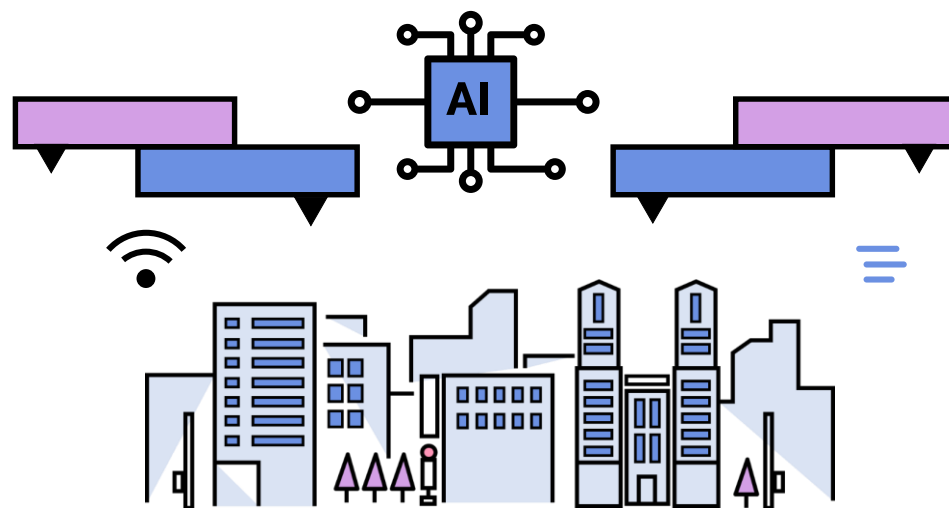
* 英語で直接プロンプトを入力する場合と同じ効果が得られます



他にこんなことにも使える！という事例について、
デジタルサービス局まで共有をお願いします。

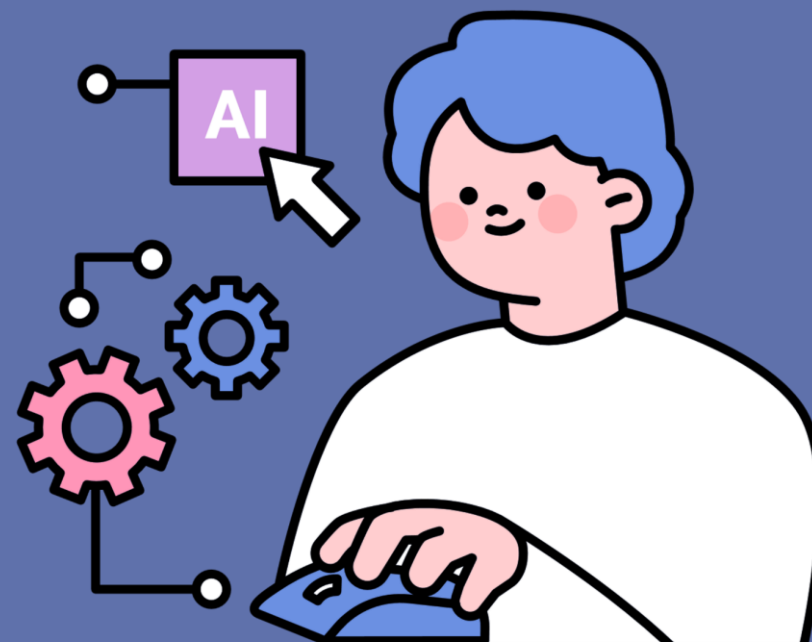
庁内で良い事例を共有し、生産性を向上させていきましょう！

こうした実績を蓄積し、都内区市町村や全国の自治体に、
ナレッジを共有していきます。



5章 今後の展望

5章では、今後の展望として、生成AIの最新の動向や、都が運用するサービス以外の生成AIの活用可能性について考えていきます。



1 発展を続ける生成AI

生成AIには、本ガイドラインで取り上げた文章生成AIだけでなく、**画像や動画、音声を生成するものなど、多様な種類**があります。

例えば、画像生成AIであれば、画像のテーマなどの条件を入力するだけで、様々な画像を得ることができ、これらを資料作成などに活用することも期待できます。

ただし、利用上のルールでも触れたように、**著作権侵害につながる恐れなどが指摘**されています。

これら以外にも技術の発展等により、新たな生成AIが誕生する可能性もあります。

生成AIの種類

文章生成



画像生成



動画生成



音声生成



2 生成AIをめぐる動向

生成AIを取り巻く状況は日々変化しています。

世界の動向や国内での議論を注視しながら、都における生成AI活用可能性を引き続き検討・議論していく必要があります。

国内外の主な動向

- 広島サミットにおける「広島AIプロセス」の設定（2023年6月）
参考：[G7デジタル・技術大臣会合/G7広島サミット](#)（総務省）
- 内閣府が実務者級の「AI戦略チーム」（2023年4月）ならびに有識者で構成する「AI戦略会議」（2023年5月）を設置。
AIに関するガイドラインを年内に一本化し、開発者から利用者までが利用しやすい内容に改定する方針（2023年6月）
参考：[AI戦略](#)（内閣府）
- 文部科学省が『[初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン](#)』作成（2023年7月）



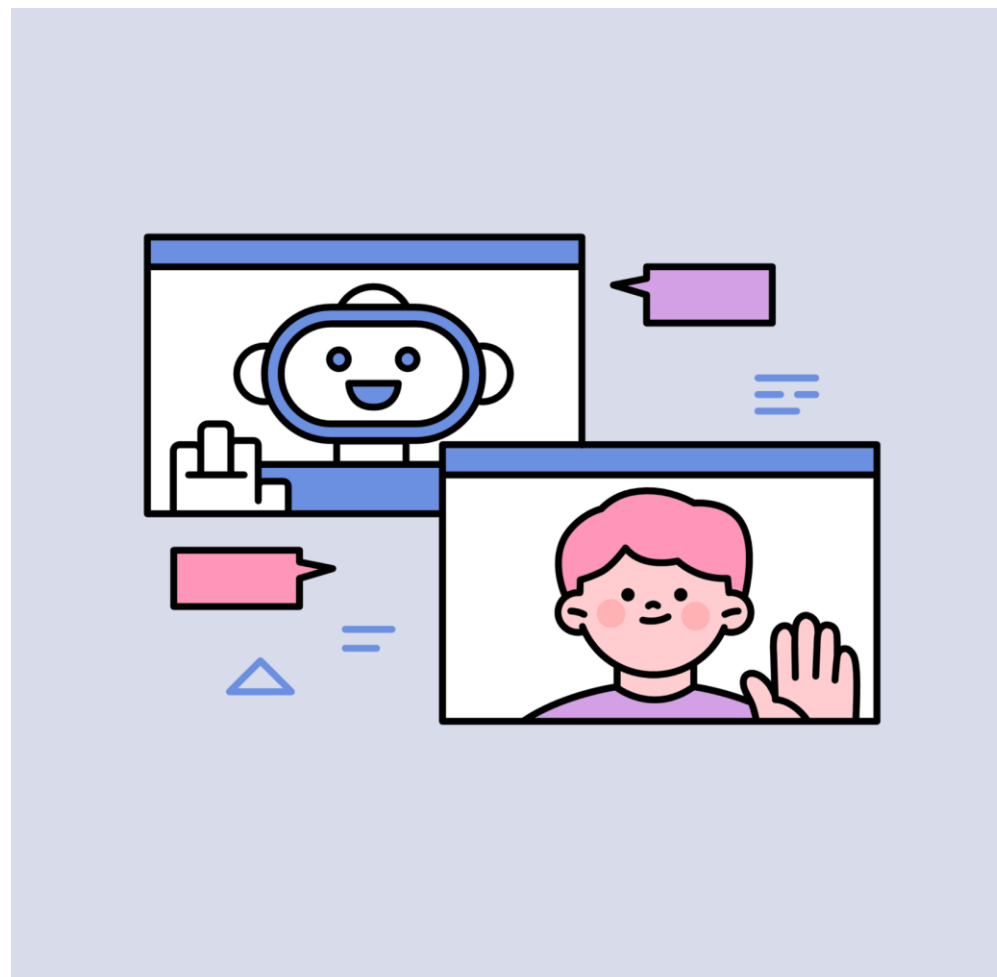
3 今後の都の取組

文章生成AI導入後も、継続的に職員の利用満足度や業務における効果等について検証し、利用環境の改善やさらなる活用につなげていきます。

また、好事例の横展開や情報収集・発信により、各局における積極的な活用を支援していきます。

プラグインサービス[※]や、文章生成以外の生成AIなど、生成AIのさらなる活用可能性についても検討していきます。

※ ソフトウェアに機能を追加する小さなプログラム、拡張機能



SPECIAL THANKS !

本ガイドラインの作成にあたり、専門知識やご経験豊富な皆様にご意見を頂戴しました。

この場を借りて、御礼申し上げます。

ご協力いただいた有識者の方々（敬称略・五十音順）

岡田 淳

森・濱田松本法律事務所パートナー
政府「AI戦略会議」構成員

岡田 幸彦

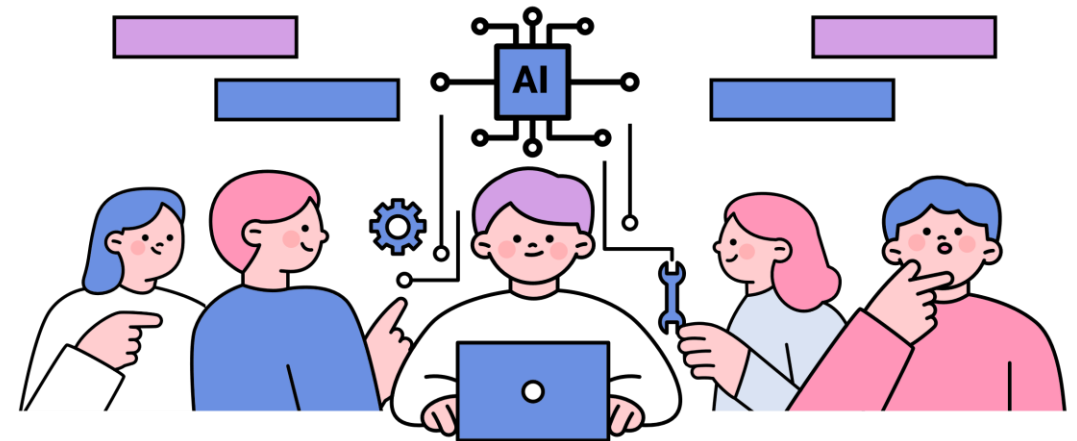
筑波大学システム情報系教授
同人工知能科学センター・サービス工学分野長

高木 祐介

株式会社自動処理代表取締役社長

丸山 宏

花王株式会社 エグゼクティブフェロー
株式会社Preferred Networks 取締役



付 録

職員アイデアソン

IDEATHON

職員アイデアソン

プロンプト事例を蓄積し、ガイドラインに反映するためにアイデアソンを開催しました。

デジタルサービス局職員（2023年4・6月開催）

目的 業務に活用し、他局へ推薦できる事例の蓄積 等

→ 約**400**件のアイデアを創出



各局職員（2023年8月開催）

目的 各局において実際に活用できる事例の蓄積

→ 約**200**件のアイデアを創出



職員アイデアソン | プロンプト事例

分類	プロンプト事例
文書作成	私は都道府県の税務担当者です。地域の小学5年生を対象に、税金の概要や納税の重要性を伝える租税教室の講師を務めます。この租税教室の冒頭に児童に対して1分程度の挨拶をするので、400字程度で挨拶文を作ってください。
	環境問題を子供たちにわかりやすく伝えるため、以下の文章を5歳の子どもでも容易に理解できる文章にひらがなを多めに言い換えてください。
	「業務のデジタル化に関する調査」について下記3点を委託し、実施、報告書提出を求めます。この委託を妥当な価格で行うために、委託仕様書に記載すべき事項を整理してください。①既存業務の内容を調査②対象業務のデジタル化・BPR後の業務フローを作成③システムの構築もしくは外部サービス調達の方向性の検討
	アンケート結果で意見の多かった内容をまとめてください。
アイデア出し	あなたは知事です。都民向けに説明するDX施策のキャッチフレーズを5つ挙げてください。
	スタートアップ向けのビジネスプランコンテストのイベントを検討しています。イベント名を5個考えてください。
	東京湾をテーマに、大学生向けの4択のクイズを3つ考えてください。
	今年対策を強化すべきサイバー攻撃を教えてください。事例などもあれば合わせて教えてください。
ローコード等の生成	以下の仕様でエクセルマクロを作成してください。 ①すべてのシートに対して、処理②各シートのA1セルを選択③各シートの表示行列を先頭にする。
	VBAの下記のコードの動作について、200字以内で要約して説明してください。

利用者アンケート

<調査概要>

対象者 : デジタルサービス局職員

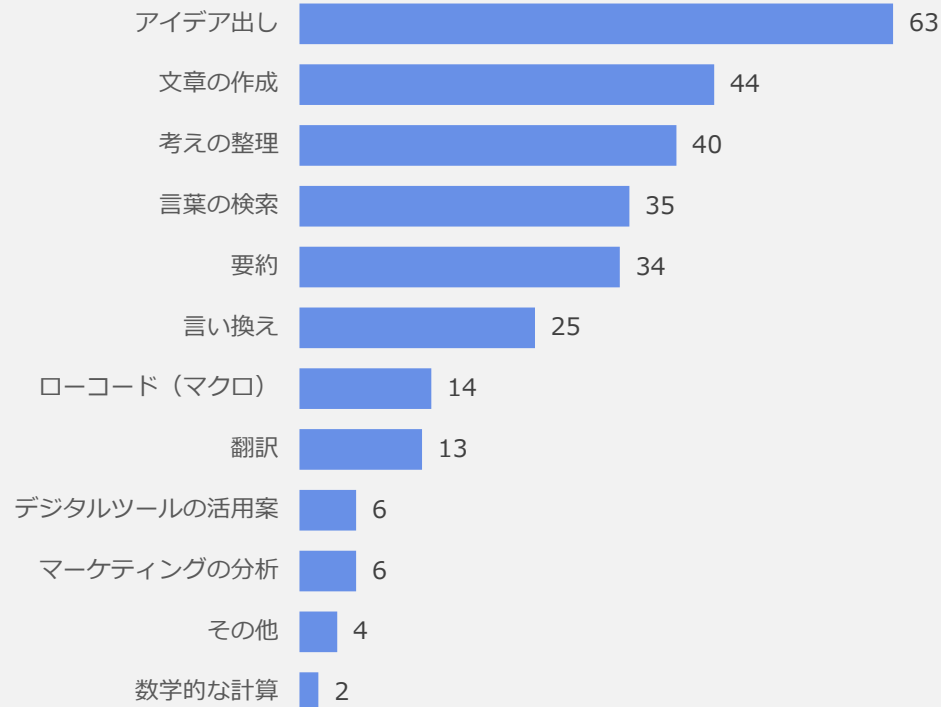
調査方法 : Webアンケート

調査期間 : 2023/7/20 ~7/28

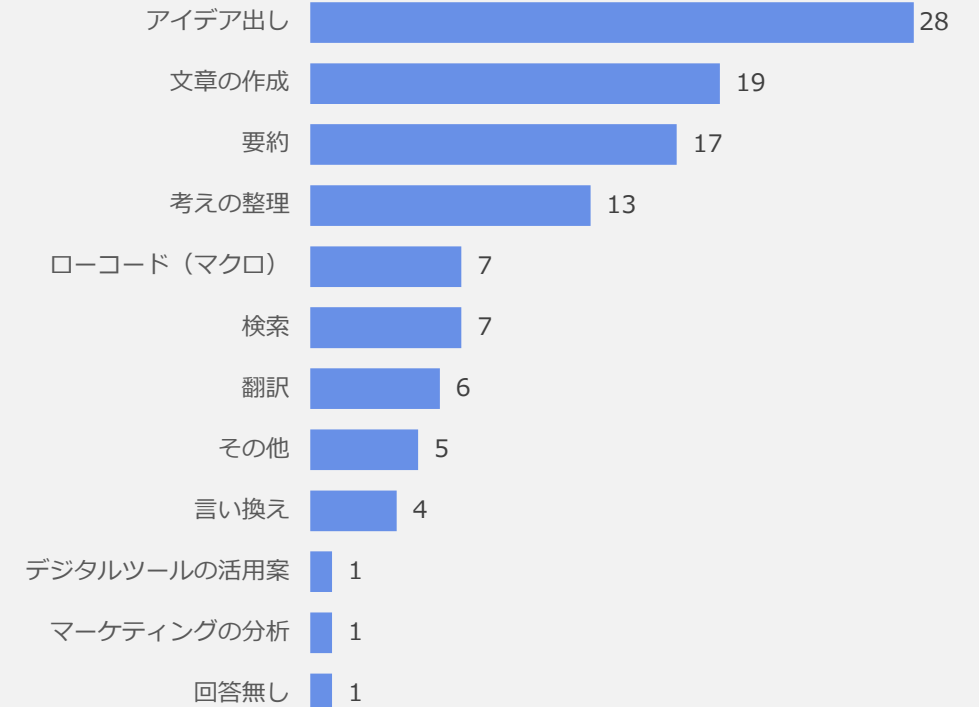
N数 : 164

利用用途

文章生成AIをどのような用途で使用しましたか (複数回答可)

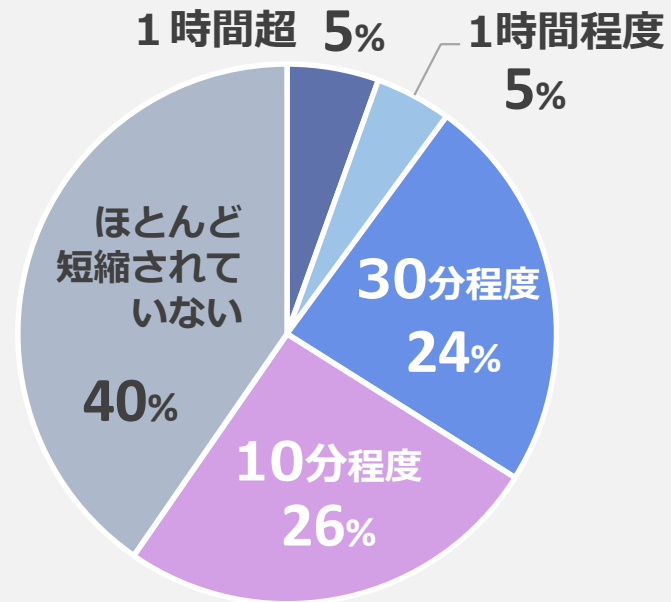


一番良いと思った用途はどれですか (複数回答可)



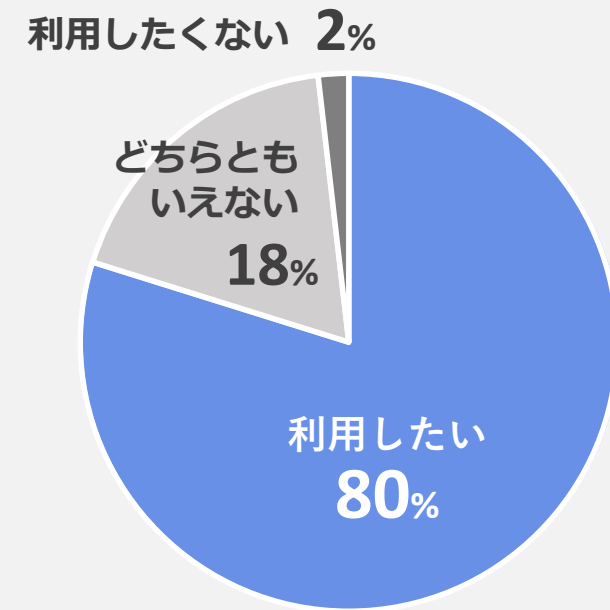
1日当たり短縮時間

文章生成AIの利用により、平均で1日当たりどれぐらい業務時間が短縮されましたか



今後の利用

今後、業務に文章生成AIを利用していきたいですか



4章で使用したプロンプトと回答の全文

PROMPTS & ANSWERS

掲載事例一覧

サンプル編	事例①	利用に向いているもの	高齢者向け企画アイデアの提案	
	事例②	利用に向かないもの	数学的な計算	
基本編	事例①	文書作成 (挨拶文)	Step 1 事業責任者として、説明会冒頭での挨拶文を作成	Step 2 挨拶文を資料掲載用の原稿に体裁を変更
	事例②	文書作成 (要約)	Step 1 HPから局事業の内容を要約	Step 2 子供にもわかるように言い換え
	事例③	アイデア出し (企画提案)	Step 1 担当として、庁内イベントの企画内容を提案	Step 2 追加提案
応用編	事例④	アイデア出し (企画提案)	応用編	英語圏の考え方や情報をベースとしたアイデアを提案

利用に向いているもの（高齢者向け企画アイデアの提案）

サンプル例 / 事例①

プロンプト	高齢者のデジタル活用に向けた企画案を箇条書きで項目のみ作成をお願いします。
回答	<p>もちろんです。以下は高齢者のデジタル活用に向けた企画案の箇条書きです。</p> <ol style="list-style-type: none">1. オンラインコミュニティの構築：高齢者同士が情報や経験を共有できるプラットフォームを提供し、交流の場を創出します。2. スマートフォンやタブレットの利用支援：高齢者がデジタルデバイスを使いこなせるよう、操作方法の研修や個別サポートを提供します。3. オンラインショッピングのサポート：高齢者が自宅で必要な商品を購入できるよう、オンラインショッピングの利用方法や安全な取引方法を教えます。4. 電子メールやSNSの活用：高齢者が家族や友人とのコミュニケーションを維持できるよう、電子メールやSNSの使い方を指導します。5. 健康管理アプリの導入：高齢者が自身の健康状態を把握し、予防や管理に役立てるための健康管理アプリを紹介します。6. オンライン教育プログラムの提供：高齢者が自己啓発や新しいスキルの習得を目指せるよう、オンライン教育プログラムを提供します。7. テレビ会議システムの活用：高齢者がリモートで医療や福祉の相談を受けられるよう、テレビ会議システムの利用方法を指導します。 <p>これらの企画案は、高齢者のデジタル活用を促進し、彼らの生活の質を向上させることを目指しています。</p>

利用に不向きなもの（数学的な計算）

サンプル例 / 事例②

プロンプト	120円、94円、84円、63円、1円の切手を使って、切手総枚数が最小になるように、406円以上の切手を組み合わせてください。
回答	<p>まず、406円以上の切手を組み合わせるために、最も価値の高い切手から順に使用していきます。最も価値の高い切手は120円ですので、まずはこれを使っていきましょう。</p> <p>120円の切手を使うと、406円から120円を引いた286円が残ります。次に、この286円を組み合わせるために、再び最も価値の高い切手を使います。次に価値の高い切手は94円ですので、これを使っていきます。94円の切手を使うと、286円から94円を引いた192円が残ります。同様に、この192円を組み合わせるために、再び最も価値の高い切手を使います。次に価値の高い切手は84円ですので、これを使っていきます。84円の切手を使うと、192円から84円を引いた108円が残ります。同様に、この108円を組み合わせるために、再び最も価値の高い切手を使います。次に価値の高い切手は63円ですので、これを使っていきます。63円の切手を使うと、108円から63円を引いた45円が残ります。最後に、この45円を組み合わせるために、最も価値の高い切手である1円の切手を使います。</p> <p>以上の手順で、406円以上の切手を組み合わせることができます。切手の総枚数は、120円の切手が3枚、94円の切手が1枚、84円の切手が1枚、63円の切手が1枚、1円の切手が45枚となります。</p>

**上記計算では、646円（計51枚）が出力されてしまう。
正しい正解（一つ）は、120円切手4枚で480円となる。
答えが一つに定まらないような依頼をすると間違う。**

文章作成（挨拶文） - 1/2

プロンプト

あなたは東京都の職員で、文章生成AIを職員に活用してもらうためのガイドラインを作っている責任者です。

ガイドラインは以下の内容です。

生成AIは、都職員の業務のあり方を大きく変革する可能性を秘めている一方、様々なリスクも指摘されています。このため、業務での活用にあたり期待する効果を得るためには、その特性をよく理解し、正しく利用することが重要。生成AIという新しい技術を正しく使いこなし、都政のQOS向上へとつなげていく。

全職員向けに文章生成AIを活用してもらうための説明会を開きますので、冒頭の挨拶文を作ってください。

回答

皆様、こんにちは。


私たち東京都では、新たな技術である文章生成AIを活用することで、業務の効率化や品質向上を図る取り組みを進めています。このたび、皆様に生成AIの活用方法についてご説明する説明会を開催いたします。生成AIは、私たちの業務のあり方を大きく変革する可能性を秘めていますが、同時に様々なリスクも指摘されています。そのため、正しく理解し、適切に利用することが重要です。私たちは、生成AIという新しい技術を上手に活用し、都政の品質向上につなげていくことを目指しています。

この説明会では、生成AIの特性や利用方法について詳しくご説明いたします。皆様には、ぜひこの機会を活かして、生成AIの活用について理解を深めていただきたいと思います。引き続き、東京都の業務の効率化と品質向上に向けて、皆様と共に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

次項へ

文章作成（挨拶文） - 2/2

プロンプト	職員向け案内文に掲載するため、200字で原稿を作ってください。
回答	東京都では、文章生成AIを活用することで業務の効率化や品質向上を図っています。生成AIの特性や利用方法について詳しく説明する説明会を開催します。生成AIは新たな技術であり、正しい理解と適切な利用が重要です。都政の品質向上に向けて、皆様と共に取り組んでまいります。どうぞご参加ください。

プロンプト	<p>スマート東京の内容について、以下ホームページの内容を、要約してください。</p> <p>https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/smarttokyo/index.html</p>
回答	<p>「スマート東京」は、東京都が推進する都市のデジタル化とイノベーションを促進する取り組みです。このウェブサイトでは、スマート東京のビジョン、目標、取り組みについて詳しく紹介しています。</p> <p>スマート東京のビジョンは、東京をより持続可能で快適な都市にすることです。具体的な目標としては、エネルギー効率の向上、交通のスムーズ化、災害対策の強化などが挙げられます。</p> <p>ウェブサイトでは、スマート東京の取り組みの一部として、さまざまなプロジェクトやイベントについても紹介しています。例えば、スマートモビリティやスマートエネルギー、スマートビルディングなどの分野での取り組みがあります。</p> <p>また、ウェブサイトでは、スマート東京に関心のある企業や研究機関、市民の方々に向けて、協力や参加の方法も案内しています。さらに、スマート東京に関する最新のニュースやイベント情報も提供しています。</p> <p>スマート東京は、東京都の未来をより持続可能で快適なものにするための取り組みであり、ウェブサイトではその詳細な情報を提供しています。ぜひ、ウェブサイトをご覧ください、スマート東京に関する情報を入手してください。</p> <p style="text-align: center;">次項へ</p> 

文章作成（要約） - 2/2

プロンプト	要約して頂いた内容を小学3年生でも理解できるように平易な言葉でまとめてください。
回答	「スマート東京」は、東京をもっと便利で環境にやさしい都市にするための取り組みです。ウェブサイトでは、その詳しい内容が紹介されています。たとえば、エネルギーの使い方を工夫したり、交通をスムーズにしたり、災害に備えたりする方法が紹介されています。また、企業や研究機関、市民のみなさんも参加できるように案内しています。最新のニュースやイベント情報も載っているので、興味がある人はぜひチェックしてみてください。

アイデア出し（企画提案） - 1/3

プロンプト	<p>あなたは東京都のデジタルサービス局でDXアワードの企画を担当しています。</p> <p>都庁内の各局から生み出される創意工夫を凝らしたベストプラクティスを共有し、優れた取組を称え、DXへの挑戦を後押ししたいと考えています。</p> <p>DXアワードの内容を下記URLから参照し、DXの業績で優れた部門に授与する賞について、アイデアを3つまとめてください。</p> <p>https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2022/08/23/08.html</p>
回答	<p>東京都デジタルサービス局のDXアワード企画担当として、都庁内の各局から生み出される創意工夫を共有し、優れた取組を称えることで、DXへの挑戦を後押しすることを目指しています。ご提供いただいたURLを参照し、DXアワードの賞について、以下に3つのアイデアをまとめました。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ユーザーエクスペリエンス賞：この賞は、市民や利用者にとって使いやすく、便利なデジタルサービスを提供することに成功した部門に授与されます。例えば、オンラインで手続きを完了できるシンプルな申請システムや、モバイルアプリを活用した便利な情報提供サービスなどが該当します。2. データ活用賞：この賞は、データを活用して効率的な意思決定や政策立案に貢献した部門に授与されます。データ分析やAI技術を駆使して、都の課題解決や市民サービスの向上に寄与した取組が評価されます。例えば、交通データを活用して渋滞緩和策を提案するなどが該当します。

次項へ

アイデア出し（企画提案） - 2/3

回答	<p>3. イノベーション賞：この賞は、新たなテクノロジーやアイデアを活用して、都の行政サービスに革新をもたらした部門に授与されます。例えば、ブロックチェーン技術を活用した行政データの透明性向上や、VRやARを活用した都市計画の可視化などが該当します。</p> <p>これらの賞は、東京都のDXアワードにおいて、優れた業績を上げた部門を称え、他の部門にも良い影響を与えることを目指しています。皆様のご協力とご提案を心よりお待ちしております。</p>
プロンプト	<p>DXアワードの賞を再編し、新しいアイデアを出してください。</p>
回答	<p>東京都デジタルサービス局のDXアワードの賞を再編し、新しいアイデアを提案いたします。</p> <p>1. デジタルイノベーション賞：この賞は、デジタル技術を活用して都の行政サービスに革新をもたらした部門に授与されます。例えば、AIやIoT、ブロックチェーンなどの最新技術を活用して、効率化や利便性の向上を実現した取組が評価されます。また、新たなアイデアやコンセプトを取り入れ、都の行政におけるデジタルトランスフォーメーションを推進した部門も対象となります。</p> <p>2. ユーザーエクスペリエンス賞：この賞は、市民や利用者にとって使いやすく、快適なデジタルサービスを提供した部門に授与されます。ユーザビリティの向上や使いやすさを重視したウェブサイトやアプリ、オンラインサービスなどが該当します。また、市民参加やフィードバックを積極的に取り入れたサービス開発や、バリアフリーなデジタル環境の構築にも注目します。</p> <p style="text-align: center;">次項へ</p>

回答

3. データドリブン賞：この賞は、データを活用して意思決定や政策立案に貢献した部門に授与されます。データ分析や予測モデリング、データ可視化などを通じて、都の課題解決や効果的な施策の立案に貢献した取組が評価されます。データの収集・分析・活用のプロセス全体において、透明性や信頼性の確保が重要なポイントとなります。

4. サイバーセキュリティ賞：この賞は、都のデジタルサービスや情報システムのセキュリティを確保し、市民のプライバシーやデータの安全を守った部門に授与されます。セキュリティ対策の徹底や脆弱性の早期発見・対応、情報漏洩の防止などが評価されます。また、セキュリティ意識の向上や啓発活動にも注目します。

これらの賞は、東京都のDXアワードにおいて、優れた業績を上げた部門を称え、デジタルトランスフォーメーションの推進を促進することを目指しています。新しいアイデアや提案がございましたら、ぜひお知らせください。

アイデア出し（企画提案） - 1/6

プロンプト	“Please translate ‘あなたはデジタル専門人材として世界各地で活躍しています。行政のデジタル化について世界中のベストプラクティスを調べ、東京都のデジタル化への挑戦を後押しする企画をまとめてください。’ into English.”
回答	"You are actively working as a digital specialist around the world. Please research the best practices for digitalization in governments worldwide and compile a plan to support the digitalization efforts of the metropolitan government."
プロンプト	"You are actively working as a digital specialist around the world. Please research the best practices for digitalization in governments worldwide and compile a plan to support the digitalization efforts of the metropolitan government."
回答	As an AI assistant, I can certainly help you with your request. Digitalization in governments worldwide has become increasingly important in recent years. It offers numerous benefits such as increased efficiency, transparency, and citizen engagement. To support the digitalization efforts of the metropolitan government, I have compiled a plan based on best practices from around the world:

次項へ

回答

1. Establish a Digital Transformation Strategy: Begin by developing a comprehensive digital transformation strategy that aligns with the goals and objectives of the metropolitan government. This strategy should outline the desired outcomes, key milestones, and the resources required for successful digitalization.
2. Enhance Digital Infrastructure: Invest in robust and secure digital infrastructure to support the government's digital initiatives. This includes upgrading network capabilities, ensuring data security, and providing reliable internet access to citizens and government employees.
3. Promote Open Data Initiatives: Implement open data initiatives to increase transparency and foster innovation. By making government data easily accessible to the public, it encourages collaboration and the development of innovative solutions to societal challenges.
4. Improve Citizen Engagement: Utilize digital platforms to enhance citizen engagement and participation. This can include developing user-friendly websites and mobile applications that provide information, allow for online transactions, and enable citizens to provide feedback and suggestions.
5. Implement E-Government Services: Streamline government processes by implementing e-government services. This includes digitizing administrative procedures, enabling online payment systems, and providing online access to government services such as tax filing, permit applications, and license renewals.
6. Invest in Digital Skills Development: Provide training programs and resources to enhance the digital skills of government employees. This will ensure that they have the necessary knowledge and capabilities to effectively utilize digital tools and technologies.
7. Ensure Data Privacy and Security: Establish robust data privacy and security measures to protect sensitive information. This includes implementing encryption protocols, conducting regular security audits, and adhering to relevant data protection regulations.

次項へ

回答

8. Foster Collaboration and Partnerships: Collaborate with other government agencies, private sector organizations, and academic institutions to share best practices, exchange knowledge, and leverage resources. This can lead to innovative solutions and cost-effective digitalization efforts.

By following these best practices, the metropolitan government can effectively drive digitalization and reap the benefits of a more efficient, transparent, and citizen-centric administration.

プロンプト

日本語に訳してください。

As an AI assistant, I can certainly help you with your request. Digitalization in governments worldwide has become increasingly important in recent years. It offers numerous benefits such as increased efficiency, transparency, and citizen engagement. To support the digitalization efforts of the metropolitan government, I have compiled a plan based on best practices from around the world:

- 1. Establish a Digital Transformation Strategy: Begin by developing a comprehensive digital transformation strategy that aligns with the goals and objectives of the metropolitan government. This strategy should outline the desired outcomes, key milestones, and the resources required for successful digitalization.**
- 2. Enhance Digital Infrastructure: Invest in robust and secure digital infrastructure to support the government's digital initiatives. This includes upgrading network capabilities, ensuring data security, and providing reliable internet access to citizens and government employees.**

次項へ

プロンプト

3. **Promote Open Data Initiatives:** Implement open data initiatives to increase transparency and foster innovation. By making government data easily accessible to the public, it encourages collaboration and the development of innovative solutions to societal challenges.
 4. **Improve Citizen Engagement:** Utilize digital platforms to enhance citizen engagement and participation. This can include developing user-friendly websites and mobile applications that provide information, allow for online transactions, and enable citizens to provide feedback and suggestions.
 5. **Implement E-Government Services:** Streamline government processes by implementing e-government services. This includes digitizing administrative procedures, enabling online payment systems, and providing online access to government services such as tax filing, permit applications, and license renewals.
 6. **Invest in Digital Skills Development:** Provide training programs and resources to enhance the digital skills of government employees. This will ensure that they have the necessary knowledge and capabilities to effectively utilize digital tools and technologies.
 7. **Ensure Data Privacy and Security:** Establish robust data privacy and security measures to protect sensitive information. This includes implementing encryption protocols, conducting regular security audits, and adhering to relevant data protection regulations.
 8. **Foster Collaboration and Partnerships:** Collaborate with other government agencies, private sector organizations, and academic institutions to share best practices, exchange knowledge, and leverage resources. This can lead to innovative solutions and cost-effective digitalization efforts.
- By following these best practices, the metropolitan government can effectively drive digitalization and reap the benefits of a more efficient, transparent, and citizen-centric administration.

次項へ

回答

AIアシスタントとして、お手伝いできます。近年、世界中の政府においてデジタル化がますます重要となっています。デジタル化には、効率の向上、透明性の確保、市民の参画促進など、多くの利点があります。都市政府のデジタル化の取り組みを支援するために、世界中のベストプラクティスに基づいた計画をまとめました。

1. デジタルトランスフォーメーション戦略の策定: 都市政府の目標と目的に合致する包括的なデジタルトランスフォーメーション戦略を策定します。この戦略では、望ましい成果、主要なマイルストーン、デジタル化の成功に必要なリソースを明確にします。
2. デジタルインフラの強化: 政府のデジタルイニシアチブを支えるために、堅牢で安全なデジタルインフラに投資します。ネットワークの能力向上、データのセキュリティ確保、市民や政府職員への信頼性の高いインターネットアクセスなどが含まれます。
3. オープンデータイニシアティブの推進: 透明性を高め、イノベーションを促進するために、オープンデータイニシアティブを実施します。政府のデータを一般に簡単にアクセス可能にすることで、協力や社会的課題への革新的な解決策の開発を促します。
4. 市民の参画促進: デジタルプラットフォームを活用して市民の参画と参加を促進します。情報提供、オンライン取引の実現、市民のフィードバックや提案の受け付けが可能な使いやすいウェブサイトやモバイルアプリの開発などが含まれます。
5. 電子政府サービスの実施: 電子政府サービスの導入により、政府のプロセスを効率化します。行政手続きのデジタル化、オンライン決済システムの導入、税務申告や許可申請、ライセンス更新などの政府サービスへのオンラインアクセスの提供が含まれます。
6. デジタルスキルの育成への投資: 政府職員のデジタルスキルを向上させるためのトレーニングプログラムやリソースを提供します。これにより、彼らがデジタルツールやテクノロジーを効果的に活用するために必要な知識と能力を身につけることができます。

次項へ

回答

7. データのプライバシーとセキュリティの確保: 機密情報を保護するために、堅牢なデータのプライバシーとセキュリティ対策を確立します。これには、暗号化プロトコルの導入、定期的なセキュリティ監査の実施、関連するデータ保護規制の遵守が含まれます。

8. 協力とパートナーシップの促進: 他の政府機関、民間企業、学術機関と協力し、ベストプラクティスの共有、知識の交換、リソースの活用を図ります。これにより、革新的な解決策や費用対効果の高いデジタル化の取り組みが可能となります。

これらのベストプラクティスに従うことで、都市政府は効果的なデジタル化を推進し、より効率的で透明性の高い市民中心の行政の恩恵を受けることができます。

アイデア出し（企画提案） *日本語で入力し、回答を生成した場合 - 1/2

プロンプト	<p>あなたはデジタル専門人材として世界各地で活躍しています。</p> <p>行政のデジタル化について世界中のベストプラクティスを調べ、東京都のデジタル化への挑戦を後押しする企画をまとめてください。</p>
回答	<p>ご依頼ありがとうございます。行政のデジタル化は、効率性の向上や市民サービスの向上など、多くのメリットをもたらす可能性があります。世界中のベストプラクティスを調査し、東京都のデジタル化への挑戦を後押しするための企画をまとめました。</p> <ol style="list-style-type: none">1. デジタルトランスフォーメーションのビジョンの策定:まずは、東京都のデジタル化のビジョンを明確にすることが重要です。ビジョンは、行政の目標や価値観を反映し、デジタル化によって達成したい成果を示すものです。このビジョンを策定することで、関係者の共通理解を促し、プロジェクトの方向性を明確にすることができます。2. デジタルサービスの開発と改善:市民が利用する主要なサービスをデジタル化し、利便性を向上させることが重要です。例えば、オンラインでの申請手続きや情報提供、デジタルなコミュニケーションチャネルの導入などが挙げられます。また、市民のフィードバックを積極的に収集し、サービスの改善に反映させることも大切です。3. データの活用とセキュリティの確保:デジタル化によって蓄積されるデータは、行政の意思決定や政策立案において重要な情報源となります。データの収集、分析、活用のための適切なインフラストラクチャーを整備し、データのセキュリティを確保することが必要です。また、個人情報の保護にも十分な配慮が必要です。

次項へ

アイデア出し（企画提案） *日本語で入力し、回答を生成した場合 - 2/2

回答

4. デジタルスキルの育成:デジタル化を推進するためには、行政職員のデジタルスキルの向上が不可欠です。デジタルトレーニングプログラムや研修の実施、外部の専門家の協力などを通じて、職員の能力向上を図ることが重要です。また、若手職員へのデジタルスキルの導入や、デジタル専門人材の採用も検討すべきです。

5. パートナーシップの構築:デジタル化の推進には、行政と民間企業、学術機関、市民団体などとの協力が重要です。パートナーシップを構築し、知識やリソースを共有することで、より効果的なデジタル化を実現することができます。また、他の行政機関や国際的なネットワークとの連携も検討すべきです。

以上が、東京都のデジタル化への挑戦を後押しするための企画の概要です。これらの取り組みを継続的に推進し、東京都のデジタル化を成功させることができるでしょう。

文章生成AI利活用ガイドライン

Version 1.0

発行：東京都デジタルサービス局